

建設機械 Safety Information

事例と対策

建設機械を安全にお使いいただくために

平素より弊社建設機械をご用命いただき、誠にありがとうございます。

この度弊社では、皆さまに建設機械をより安全にご使用いただくよう、Safety Information をお届けさせていただきます。

下記は特定の事故ではなく建設機械一般の事故を前提に作成しており、皆さまの安全管理の一助となれば幸いです。

事例 1

路肩が崩壊し高所作業車が転倒



転倒事故

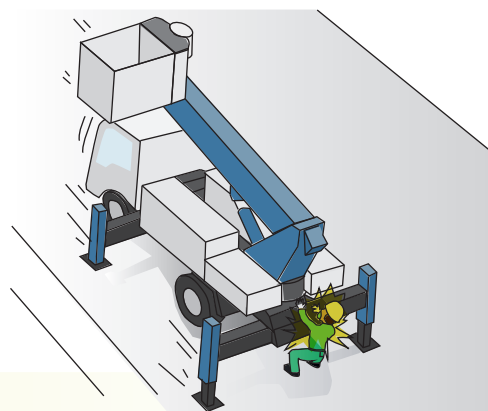
路肩にジャッキ設置を行ったため、
ブーム旋回によってジャッキ部の荷重が増加し
地面が崩壊。

ジャッキ格納操作時に車両逸走

事例 2

車両逸走

坂道で、作業終了後ジャッキを
格納方向に操作したところ、
車両が坂下方向に逸走。



事例 3

高さ制限のある橋桁に激突



衝突事故

高さ制限と車両の高さを確認
しなかったため、橋桁に激突。

事故防止策のヒントを裏面でご紹介しています。

安全確認基本事項のお願い

- ・各建設機械の能力を超えた作業は実施できません。
- ・積み下ろし等は平坦な場所で行います。
- ・誘導者を配置し、作業者との相互合図を決定します。
- ・作業開始前の安全装置の機能保持をお願いします。

対策 1

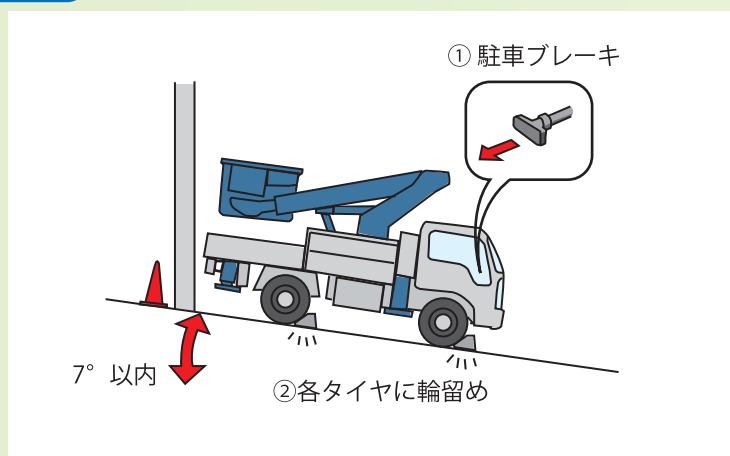
車両設置は水平で堅固な場所で行うこと！



- ・車両設置は、水平で堅固な場所で行ってください。
- ・地盤が堅固でない場合は、十分な養生を行ってください。
- ・旋回により、ジャッキに設置時より過大な力が発生する危険性がありますのでご注意ください。

対策 2

坂道でのジャッキ操作に注意！



- ・傾斜路においては、輪留めを密接してください。
- ・ジャッキ格納作業は、車両のパーキングブレーキが効いている後輪から設置させるため、後側ジャッキより操作してください。
- ・最大路面傾斜角度（車両前下がり方向7度以下）以内に設置してください。

対策 3

車両高さを確認し、高さ制限表示に注意！



- ・車両高さを確認し、通行箇所の高さ制限表示に注意して走行してください。
作業床を上げたまま移動できる車両の場合は、特に注意して移動を行ってください。
- ・高所作業車は、一般的なトラック等に比べ、重心高が高いため、カーブ路走行中のスピード過多は、横転の恐れがあります。